

1 各校（園）での特色ある学校づくり

●学校教育課 ☎ 43-9025
●子育て応援課 ☎ 43-9024

●加悦中学校 「届けよう 服のチカラ」プロジェクト



3年生を中心に、難民の置かれた現状や国際貢献について学習し、「届けよう 服のチカラ」プロジェクトに取り組みました。服を必要とする難民の子どもたちに、着なくなった子ども服を回収し届けるという取り組みです。中学生だけでなく3年生が小学校やこども園に出向き、直接協力をお願いしたくさんの子ども服を回収できました。園・小・中の子どものつながりも深まりました。今後も子どもたちの心に響く取り組みを行っていきます。

●橋立中学校 心のふるさと学～総合的な学習の時間【ふるさと発信の取り組み】

3年生の総合的な学習の時間に、「ふるさとの未来」について考える取り組みを行っています。修学旅行先では、与謝野町の知名度などを知るアンケートを行い、協力していただいた方には自分たちで作った「組紐」をプレゼント。これらの調査結果を踏まえ、文化祭では与謝野町を活性化させるための起業案について、各学級代表よりプレゼンテーションを行いました。3学期には首長対談を行い、自分たちが考案した起業案を与謝野町長・宮津市長に発表し、その実現性や意見を伺い「ふるさとの未来」について考える機会をもちました。



●江陽中学校 野田川地域に根付く「うどん」文化と郷土愛



野田川地域には古くから地域行事や祭事の際に「うどん」を食べするという文化があります。「なぜ、野田川地域には『うどん文化』が根付いているのか?」。そんな疑問に対して、1年生が総合的な学習の時間に探究を深めています。生徒たちは「うどん文化」を軸として野田川の歴史や地域資源を深く探り、ふるさと与謝野町・ふるさと野田川への郷土愛を高めています。

●加悦小学校 仲間と学び合い、自らの学びに生かす児童をめざして

居心地のよい学級づくりを基盤に、人とのつながりを大切にしています。異年齢でのなかよし班掃除、チーム遊びもその一つです。全校 SST（ソーシャルスキルトレーニング）を継続し、言葉をとおして思いを伝え合い、受け止め合うことができる児童を育てています。また、教科担任制を生かした指導を取り入れ、児童の学びが広がり深まるよう研究を進めています。



与謝野町の教育

～ 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり ～

●与謝野町教育大綱における教育理念（人間像）

世界中の国や地域で、自らの責務を果たすことができ、自信と思いやりにあふれ、創造的に未来を開拓する精神をもつ人間を育む。



学校が抱えている子どもたちの現状や課題について、地域と学校が一緒になって考え、子どもたちの将来に向けた意見を述べ、課題を解決していこうという取り組みであるコミュニティ・スクールが、加悦小・中学校でスタートしています。令和5年6月に開催された第1回の会議では、夏の加悦小学校の校地清掃に地域の協力を呼びかけることなどが確認され、当日は多数の方に参加いただき、整備されたグラウンドで2学期を迎えることができました。

令和6年度からは、野田川地域の小・中学校と岩滝小学校でもコミュニティ・スクールが始まる予定であり、地域と学校との連携がより一層深まることと期待しています。

小式部内侍（和泉式部の娘）に詠まれた名峰「大江山」、与謝野鉄幹・晶子夫妻が訪れた天橋立を望む「大内峠（一字観公園）」、静寂の中に凜とたたずむ瀧の「千年椿」や与謝蕪村の名句にある「夏河（野田川）」を遡上する鮭など、与謝野の自然のすばらしさは私たちの感性を豊かなものにしてくれます。

日本海側で3番目に大きな「蛭子山古墳」や大風呂南墳墓で発掘された「ガラスの釧」、伝統的建造物群保存地区に指定されている「ちりめん街道」など、与謝野の悠久の歴史は私たちのふるさとへの思いを確かなものにしてくれます。

「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」の未来像を掲げる与謝野町、町教育委員会、組合教育委員会の魅力ある取り組みをご覧ください。

教育長 長島雅彦